

令和3年度 学校自己評価表 米子松蔭高等学校

学校教育目標 「社会で真に役立つ実践的な人材の育成」	
① 自主自立の精神の涵養	責任と義務を尊重しつつ、自ら進んで目標に向かって努力する精神を養う。
② 人間性の陶冶	規律を守るとともに、人の苦しみや悲しみを正しく理解し、適切な行動のできる豊かで調和のとれた健全な人格の育成をめざす。
③ 勤労を尊重する精神の育成	勤労を尊重する精神を養い、社会に貢献しようとする意欲を育成する。
④ 進路指導の充実	生徒の興味・適性・能力を尊重し、適切な進路の決定ができるよう指導の充実を図る。
⑤ 学習指導の充実	わかりやすい授業を心がけ、生徒の適性に応じた指導に努める。
⑥ 生活指導の充実	生活面の指導を大切に、正しい服装容儀、規律ある生活態度で生きる姿勢を育成する。
⑦ 部活動の充実	顧問と生徒が目標に向かって共に努力してゆく中で、協調性・責任感・忍耐力を養う。

本年度の重点目標
建学の精神に基づき、これからの社会が必要とする人材の育成に努める。広い視野と知見を持ち、多様な価値観の中から、主体的に新しいものを創造していくことのできる力の育成を重点目標とする。

評価について A 達成できた B 概ね達成できた C やや不十分な点あり D かなり改善の余地あり E 全く不十分 () 評価せず または 評価できず

学年分掌	令和2年度末の状況	令和3年度の目標	具体的方策	中間評価	中間評価に対する改善点	最終評価	目標の達成状況	次年度引継事項・改善策など
教務部	<ul style="list-style-type: none"> (教務) 進みつつあるICT活用は、わかりやすい授業や双方向型の授業を実現させる有効なツールとなった。学習方法が多様になる中で、指導方法についての情報共有が学習指導の充実に繋がっている。また、昨年度は全校や学年を単位として活動する機会が減少したが、学校行事は生徒の学校生活に秩序と変化を与える役目を果たした。 (図書) 情報の収集、活用の仕方に関する授業支援を行ったことで、図書館は読書だけでなく、多様な場面で活用できるということを広報することができた。様々なテーマで情報を探しに訪れ、資料相談を利用する生徒が多く見られた。「読みたい気持ち」、「学びたい気持ち」を応援する場所であるということを常に呼びかけ、生徒・教職員の利用増加を目指したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導の充実を図る。 授業時間の確保に努める。 学校行事の円滑な運営に努める。 豊かな蔵書構築に努め、情報活用能力を育む図書館づくりに努める。 授業支援のさらなる充実に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 相互授業見学を継続的に実施する。生徒による授業評価を年2回実施する。 月間・週間行事の検討・計画を行う。日課の調整や変更を迅速に行う。 前年度までの運営を改善しながら、新しい様式にも臨機応変に対応する。 さまざまな資料、情報に触れることのできる豊かな蔵書構築に努め、生徒の「読む」「調べる」活動の充実を図る。生徒が図書館の資料とサービスを積極的に利用し、自身で情報を収集し、活用できるように導く。 様々な機関と連携して、生徒、教職員に対して豊富な資料提供を行う。丁寧な資料相談を基本とし、授業担当者や連携して生徒の日々の学習を支援する。授業に関連した内容の図書館オリエンテーションを効果的に行う。 					
総務部	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染防止対策を施しながら前後期入試ともに無事に終えることができた。 校内における入試事務作業については概ね円滑に進めることができたが、細かな部分で改善の余地が見られた。 新型コロナウイルスの影響により、各行事が中止となり活動ができなかった。 修繕箇所への対応が比較的速やかに行えた。 古い校舎であっても掃除が隅々まで行き届いている教室が多く見受けられた。 	<ul style="list-style-type: none"> 正確で円滑な入試事務作業の実施 学校と保護者との協力関係のさらなる構築 校舎の環境保全に努める 	<ul style="list-style-type: none"> 時代に沿った入試方法について考え、出願から入学までの流れにおいて受験生、中学校、本校にとってよりよい入試となるよう進めていく。 出願から新入生説明会までのスケジュールを入試事務スタッフ全員が周知し、他部署と連携するとともに各自が責任をもって役割を果たす。 世の中のコロナとのかかわりを見ながら、学校と保護者との協力関係のあり方を探る。 歴史ある校舎に生徒が愛着を持てるよう、日々の掃除を徹底させる。 					
進路指導部(就職)	<ul style="list-style-type: none"> コロナワクチンを接種し、ウイルスの広がりを止めるにはまだまだ時間がかかりそうである。来年度も本年度と同様の内容を想定し、生徒一人ひとりをよく理解し、能力・適性に応じた進路指導に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> いまだに経済状況は不安定であるが、生徒一人ひとりをよく理解し、能力・適性に応じた進路指導に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 「進路総合評価」「進路適性検査」を参考にし、担任又は就職・教育支援担当者、カウンセラー及び部活動顧問、家庭、さらに関係機関との連携を密にしながら、個別面談を重ね、適切な進路指導に努める。また、今年度も就職先訪問は出来ないが電話などで状況を把握すると共に、本年度の採用計画を聞き出した。また、企業との関係性は今まで培った信頼関係でカバーしたい。 					
進路指導部(進学)	<ul style="list-style-type: none"> オール普通科になったため今までよりも進学希望、特に大学に行きたいという生徒が増えてきた。1年次より進路に対する意識が持てるよう各種ガイダンス等を利用して生徒の意識を変えていきたい。特に授業に取り組む姿勢をもっと向上させる必要がある。教員間で問題共有をするなど、より密な連携を取っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の希望進路合格を目指す。 各種ガイダンス等を通じて生徒の進路意識の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 多種多様な受験形態の研究を進め生徒とともに最善の受験方法での合格を目指す。 学年ごとのガイダンスの方法を考え、より興味関心が高まる方法を考えていく。BLENDを利用してオープンキャンパス等の案内を徹底して行う。 					

学年分掌	令和2年度末の状況	令和3年度の目標	具体的方策	中間評価	中間評価に対する改善点	最終評価	目標の達成状況	次年度引継事項・改善策など
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> 概ね良好ではあったが、SNSのトラブルが多く発生した。コロナ感染症予防対策として講演会を開催できなかったことあり、今年度は開催方法も考慮しながら節度のある通信機器の利用方法を学ぶ機会を作りたい。 登下校時の自動車での送迎を禁止しているが、守っていない生徒が目立った。近隣の方に迷惑をかける事態となっているので継続して立ち番指導が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を身につけさせる。 生徒が安心して通うことができるよう指導に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 新入生は、オリエンテーションを通して学校生活に早く慣れさせる。 挨拶の徹底を全校集会やルームなどで呼びかけるとともに、通学指導などで教員からも積極的に声をかけを行う。 服装規定の遵守のため服装指導を徹底する。 社会のルールやマナーを理解し守るよう指導する。 (講演会等も含む) ・薬物乱用 ・SNS 他 登下校中に事故や被害に遭わないよう安全指導を徹底する。 (各ルーム、立ち番指導等) いじめを許さず、見逃さない。生徒の言動に変わった様子はないか注意する。 					
人権教育推進部	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症は未だ終息の目途が立たない。感染防止策の徹底とともに、感染症の問題は、誰にとっても考え続けなければならない人権問題である。一人ひとりが自分に関わるものとして考える資料の開発が引き続き必要である。 性の多様性をテーマとして、新しい課題に本格的に取り組んだ。教職員研修、公開授業、日々の活動を通じ、体験と学習を積み重ねた。 人権ホームルームでは、毎時間、身に付けさせたい知識・技能・態度のさらなる明確化に努めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症に対する対応を、人権への配慮の観点から考える。 多様性を尊重すべき中、新たな人権課題に取り組んでいく。 人権ホームルームにおいて、生徒が身に付けたい知識・技能・態度を明らかにし、日常、不適切な言葉をゆるさない技能・態度につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 文科省、県教育委員会人権教育課など行政機関の通知・指針をふまえ、また、新聞各社の報道を社会科学的に分析し、本推進部の対応を検討し、教職員、生徒、保護者への啓発に努めていく。 いじめ問題、性の多様性に関する問題、外国籍の方に関する人権問題、ネット問題など特に人権ホームルームを通じ、学習を進めていく。 年間推進計画、学年年間計画をふまえ、毎時間、生徒に身に付けさせたい知識・技能・態度を明確化する。言葉遣いアンケート結果をふまえ、不適切な言葉をゆるさない姿勢を養う。 					
教育相談・支援	<ul style="list-style-type: none"> 個別の支援計画の作成は遅れたが、支援会議等で活用していくことができた。 担任、副担任、教科担当など多くの先生方とチーム連携をはかっていくことができた。 特別支援学校や、市町村の福祉課との連携を図っていくことができた。 SC、SSWだけでなく校外の機関との連携について認知されてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別の支援計画の活用推進 校内連携の強化 他機関との連携作り 学校全体として支援理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別の支援計画について作成では手順を担任と再確認し、支援会議等で情報を共有するなどして活用していく。 教員間で情報交換を行い、早期の対応に努める。 他校や医療機関、就労支援機関等と連携し、進路決定等多方面から支援をしていく。 研修会・講演会等の参加を積極的に促す。 SC・SSW・サポステ連携を通じて学校全体としての支援理解・学びを深めていく。 					
広報	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、学校説明会等の参加者数は減少したが、感染対策を取りながらオープンスクール・入試説明会を適切に実施・運営することができた。 通年、Webページ・SNSによる情報発信を迅速に行うことができ、閲覧数・登録者数を確保することができた。それにより、開かれた学校づくりの一端を担うことができた。また、学校PR動画やプレゼンテーションの刷新により、学校ブランディングのきっかけを作ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> オープンスクール・学校見学会・入試説明会の充実と参加者の確保 開かれた学校づくりの推進と学校ブランディング 	<ul style="list-style-type: none"> 中学生・保護者・中学校への的確な情報発信 オープンスクール等の実施内容の精査、円滑な運営 広報活動の充実 Webの更新・管理運営 SNS等による情報発信 					

学年分掌	令和2年度末の状況	令和3年度の目標	具体的方策	中間評価	中間評価に対する改善点	最終評価	目標の達成状況	次年度引継事項・改善策など
生徒会	<ul style="list-style-type: none"> 9月に学校祭、及び11月にスポーツ祭を実施することができた。執行部、教職員、生徒をはじめ多くの協力のもとで、思い出に残る行事にすることができた。 生徒が主体となって行事の運営等を積極的に議論することができた。今後も生徒会全員で学校生活を充実したものにするために、活動を継続する。 他分掌と連携を図り活動することができた。引き続き学校を盛り上げていけるように、連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事の充実 生徒会活動の充実 他分掌との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 7月のスポーツ祭および10月の学校祭が充実したものになるように、早めに計画をする。 各クラスの中央委員との連携を図る。 学校生活をより充実したものにするために、定期的に部会を開き、議論する。 放課後の清掃点検や園芸活動を行う。 ボランティア活動の呼びかけを行い、生徒の参加を促す。 『松蔭TIMES』の発行を行う。 他分掌と、お互いの要請等により活動を計画・実施する。 					
学年分掌	令和2年度末の状況	令和3年度の目標	具体的方策	中間評価	中間評価に対する改善点	最終評価	目標の達成状況	次年度引継事項・改善策など
一年部		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立 学習習慣の確立 家庭との連携 人権意識の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶と正しい服装の定着を図る。 早寝・早起き、食事、健康面の管理に努め遅刻・欠席をなくすよう指導する。 授業に集中して取り組み、日頃から計画的に家庭学習を行うよう指導する。 保護者へBlendの活用を促し、連絡を密にする。 学校からの配布物や家庭からの回答を必ず提出するよう指導する。 状況に応じて保護者に連絡を取り、学校や家庭の様子について情報交換を行う。 学校行事や学級活動を通し、互いを思いやり尊重する心を育む。 					
学年分掌	令和2年度末の状況	令和3年度の目標	具体的方策	中間評価	中間評価に対する改善点	最終評価	目標の達成状況	次年度引継事項・改善策など
二年部	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活習慣の声掛けを根気強く継続していく。 早めの登校や朝読書の時間の有効活用などが継続できるよう、声掛けを行う。 集中力が続かない生徒や課題提出が滞ってしまう生徒に対し、教科担当と協力して指導を行う。 保護者、家庭との連携に努めている。 相手の気持ちや自分の言動が周囲に与える影響をよく考えて発言・行動するように、折に触れ指導を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立 主体的に学習に取り組む姿勢の確立 家庭との連携 人権意識の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶と正しい服装の定着を図る。 自主自立に努め、充実した高校生活を送るよう指導する。 自らの興味関心や特性、進路について考え、授業や家庭学習に目的を持って取り組むよう指導する。 保護者へBLENDの登録、活用を促す。 家庭との情報交換をこまめに行い、諸問題の早期発見と迅速な対応に努める。 様々な個性や価値観があることを理解し、互いを尊重する姿勢を育む。 学校行事や学級活動を通し、周囲を思いやる気持ちや協調性を育む。 					
学年分掌	令和2年度末の状況	令和3年度の目標	具体的方策	中間評価	中間評価に対する改善点	最終評価	目標の達成状況	次年度引継事項・改善策など
三年部	<ul style="list-style-type: none"> 【基本的な生活習慣・学習態度について】概ね規則正しく、かつ落ち着いて日々の生活を送ることが出来ている。さらにレベルの高い質での学習に取り組めるよう促していくことが必要となる。 【保護者との連携について】各種連絡事項をペーパー配布とClassiを効果的に使いながら情報提供をしていくことが出来た。面談や電話連絡等も今一層充実させていく必要がある。 【各クラスの状況】各クラスともクラスメイトと互いに支えあいながら生活を送る様子も見られるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の定着 学習習慣の確立と進路指導の充実 保護者との連携 人権意識を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつや服装、時間を守ることを徹底させる。また最高学年としての自覚を持ち、責任を持った行動で生活を送るよう指導する。朝読書も積極的に促し、落ち着いて一日の生活を始めさせたい。 主体的学習者の育成のため、各授業や総合的な探究の時間での工夫を考えたい。進路決定に向け、適切な情報提供を行う。 保護者との連携を深め、学校での状況や家庭での様子について共通理解を図る。 学校行事やクラスでの活動、部活動を通して他者への理解を深め、人を思いやる心を育む。 					